

平成18年度第9回（第37回）役員会議事要旨

日 時 平成19年1月10日（水）11時から12時5分
場 所 事務局第二会議室
出席者 小島学長、丸山理事・副学長、川崎理事・副学長、佐藤理事・事務局長、
井上副学長、宮田副学長、西口副学長、石崎副学長
陪席者 赤羽附属図書館長、丸山監事

第36回議事要旨について

学長から、第36回議事要旨案について説明があり、案のとおり承認した。

報 告

- 1 平成19年度国立大学法人運営費交付金の内示について
事務局から、資料1に基づき報告があった。

- 2 第3回国立大学法人等監事協議会総会について
丸山監事から、資料2に基づき報告があった。
要点は、以下のとおり。
 - 監事協議会の中で、会計監査、業務監査、業務効率化の各タスクフォースチームを設置し、監事監査制度の在り方等について検討を重ね、今回、中間報告を行ったところだが、あと1年程度検討の上、最終報告を予定している。
 - 第1期（平成16～17年度）から第2期（平成18～19年度）にかけて、常勤監事の割合が減少している。
 - 財務諸表の官報掲載費用については、従前から意見が多く、監事協議会から、費用の削減のための諸意見について、文部科学省に検討願いたい旨の申し入れを行った。
 - 監査担当職員の研修は有効であるという意見が多く、各支部における検討が期待される。
 - 文部科学省高等教育局藤原国立大学法人支援課長の講演では、国立大学の再編・統合は、平成14年から始まり、平成17年10月で101大学から87大学となり、ほぼ落ち着いたが、国立大学は、運営費交付金の減少が続く中で、この87大学体制で維持できるのか、といった厳しいコメントもあった。

- 3 その他
 - (1) VOS特待生制度に係る高専訪問について
事務局から、資料3に基づき報告があった。

(2) 監事に対する系・センターの現状報告について

佐藤理事・事務局長から、平成 17 年度機械系等計 6 系が行った監事に対する現状報告を、今年度も、新設の技術経営研究科システム安全系及び共同教育研究施設の一部（省令により設置のセンターのうち、2～3のセンター）について実施したい旨の提案があり、日時等調整の上、実施することとし、決定次第、早急に監事に連絡することとした。

(3) 平成 18 年度科学研究費補助金の交付内定（基盤研究（B）〔新規採択分〕間接経費追加配分）について

佐藤理事・事務局長から、このことについて、独立行政法人日本学術振興会から、2,244 万円の追加配分の交付内定があった旨の報告があった。

以 上